

# 公募の位置づけならびに申請後の流れ

Interstellar Initiative全体における公募の位置づけは次の通りです。  
応募で登録いただいた内容は主にInterstellar Initiativeの参加者採否決定のために使用され、配布される研究費を使用しての委託研究開発の内容と基本的に一致しませんのでご留意下さい。

## 応募申請

応募申請の登録内容は平成30年度Interstellar Initiativeに参加する研究者の採否審査のために使用します。**チームとしての申請ではなく、各研究者による個人での申請となります。**

■日本国内の研究者  
(日本国内の研究機関等に所属する外国人研究者を含む)

応募申請  
e-Radへの登録

AMED  
ホームページ



AMEDの公募ページに要領等の関連資料、応募申請フォームへのリンクが掲載されています。

■海外の研究者  
(海外の研究機関等に所属する日本人研究者を含む)

応募申請

ニューヨーク  
科学アカデミー  
ホームページ



ニューヨーク科学アカデミー:ワークショップの開催実務委託先

登録された情報をもとに審査し、採否(当年度のInterstellar Initiativeに参加する研究者)を決定。

研究者へ採否通知

応募申請の情報や評価委員会での議論をもとに、採択された研究者を3名1組の国際的・学際的チームに編成。  
※各チームに日本の研究機関に所属する研究者を1名ずつ含む

第一回ワークショップ開催(2018年6月22-23日)。各チームがメンターの指導のもと、研究計画を作成。

医療分野(平成30年度は対象をがんまたは脳・神経疾患に設定)でまだ解決されていない難課題に対し、チーム一丸となって学際的なアプローチで挑む研究計画を作成します。議論の結果、ご自身の応募申請内容がそのままチームとしての研究計画になるケースも想定されますが、他のメンバーの応募申請内容がチームの研究計画になるケースや、最も多く想定されるケースとして、各チームメンバーの申請内容とは全く異なる新しい内容がチームとしての研究計画になるケースも想定されます。そのため、応募申請内容と実際に委託研究開発費で実施する内容は基本的に異なるものになります。

第一回ワークショップでのチームディスカッションの結果をもとに委託研究開発関連書類(研究開発計画書、経費内訳書等)を日本国内に所属する研究者が作成し、AMEDに提出

AMEDが各チームの日本国内の研究者の所属機関と委託研究開発を締結。(7月末~8月上旬ころを予定)

各チームに研究開発費配賦、作成した研究計画の実現可能性等を検証する実験を実施(委託契約締結後、平成30年度末まで)

第二回ワークショップ開催(2019年1月31日-2月1日)。検証実験の結果やこれまでのチームでの議論を踏まえ、メンターとの議論も交えて研究計画をさらに練り上げ。

公募

